

会議録

会議の名称	令和6年度第2回弘前市健康づくり推進審議会
開催年月日	令和6年11月19日(火)
開始・終了時刻	午後1時30分から午後3時10分まで
開催場所	弘前市保健センター2階 大会議室
議長等の氏名	弘前市健康づくり推進審議会 会長 井原一成
出席者 (13名)	学識経験のある者：委員 井原一成 保健・医療関係者：委員 柿崎良樹 委員 石岡隆弘 委員 磯木雄之輔 委員 佐藤史枝 公共的団体の推薦：委員 福島龍之 委員 斎藤明子 委員 八木橋喜代治 委員 成田津江 委員 藤谷育男 委員 三上美知子 公募委員：委員 小磯 明 委員 島田之恵
欠席者 (2名)	学識経験のある者：委員 古川照美 関係行政機関の職員：委員 斎藤和子
事務局職員の 職・氏名 (18名)	弘前市副市長：田中泰宏 健康こども部長：佐伯尚幸、健康増進課長：川田哲也 健康増進課参事兼統括保健師：佐藤美加 健康増進課長補佐：工藤孝幸、三上淨子 健康増進課主幹：澤居吏香子、佐藤康行、今敏行 健康増進課総括主査：長尾厚子、尾崎弘子、進藤明良 健康増進課主任管理栄養士：小山内さとみ 健康増進課主査：対馬佳津子 健康増進課保健師：山口貴史 健康増進課主事：安達拓耶、木村瑞希 会計年度任用職員：成田美奈子
会議の議題	1 弘前市健康づくり推進審議会の概要について（説明） 2 弘前市健康増進計画「第3次健康ひろさき21」の概要について（説明） 3 第2期弘前市自殺対策計画の概要について（説明） 4 その他
会議結果	下記会議内容に記載のとおり
会議資料の名称	・令和6年度第2回弘前市健康づくり推進審議会次第 ・弘前市健康づくり推進審議会委員名簿

	<ul style="list-style-type: none"> ・資料 1・弘前市健康づくり推進審議会の概要 ・資料 2・① 弘前市健康増進計画「第3次健康ひろさき21」 【冊子】 ・資料 2・② 弘前市健康増進計画「第3次健康ひろさき21」 【概要版】 ・資料 3・① 第2期弘前市自殺対策計画【概要版】 ・資料 3・② 弘前市自殺対策計画 成果指標管理シート
会議内容 (発言者、発言内容、審議経過、結論等)	<p>【次第】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 委嘱状交付式 3 市長挨拶（副市長代読） 4 事務局職員紹介 5 組織会 <ol style="list-style-type: none"> (1) 会長選出 (2) 会長職務代理者指名 6 案件 <ol style="list-style-type: none"> (1) 弘前市健康づくり推進審議会の概要について（説明） (2) 弘前市健康増進計画「第3次健康ひろさき21」の概要について（説明） (3) 第2期弘前市自殺対策計画の概要について（説明） (4) その他 7 弘前市健康こども部長挨拶 8 閉会 <hr/> <p>【1 開会】</p> <p>【2 委嘱状交付式】</p> <p>【3 市長挨拶】（副市長代読）</p> <p>【4 事務局職員紹介】</p> <p>【5 組織会】</p> <p>(1) 会長選出 井原一成委員が会長に選出された。</p> <p>(2) 会長職務代理者の指名 柿崎良樹委員が会長職務代理者に指名された。</p>

【6 案件】

(1) 弘前市健康づくり推進審議会の概要について

(事務局)

資料1説明

委員からの意見・質問等はなかった。

(2) 弘前市健康増進計画「第3次健康ひろさき21」の概要について

(事務局)

資料2説明

(委員)

この計画は、第1次から、第2次、そして第3次に繋がっていると思うが、全体的に見ると、決して好転しているように見えてこない。少しずつは良くなってきてているように見えるが、もう少し市民に成果が明確でわかりやすいものも作った方が良いと思う。すべての項目を網羅するのもいいが、明確に目標をこうで、ここまでできた、というわかりやすい資料も必要だと考える。

また、健康になるために意識をどう変えていくか、青森県民は、お酒も飲むし、しゃっぽいものも食べるし、食べたいものを食べていつ死んでもいいんだっていう考え方があるが、男性は特に多いと思われる所以、そういう方々の意識改革をするためにはどうすればいいのかということももっと大事なのではないかと思っている。

意識が変わらないのにいくら健康になろう、健康になろうと言っても、やはり最低限の意識改革をするために、もちろん子どもたちの、若いときから健康に対する認識を持たせなければいけないということも大事だが、ある程度年配の方、そういう方たちの認識を変える、そこにアピールしていくかなければ成果が出ない気がしている。

(事務局)

本計画には、確かに多くの指標があってそれぞれに目指すべき姿もあるが、特に今重点的に考えているのは、やはり働き盛

り世代の運動不足や小さい頃から肥満傾向が高いことが問題と考えている。

市の取組としては、例えば去年から始めている弘前大学で開発した「QOL健診」というのは、測定の結果が即時にわかりすぐに自分の行動変容や自分の生活改善につなげることができて、ひいては大きな疾病の予防にもなるというもので、ヒロ口健康広場において、月2回募集をかけてほぼフルの項目で実施するとともに、ある程度の項目については常設のコーナーでいつでも測定できるようにしているほか、企業に実際に出向いてQOL健診を実施して、それぞれその場で測定結果を説明して、生活習慣や運動習慣の改善のアドバイスをしたりということも行っているので、ただ今意見をいただいたように、重点的な取組を取り上げて市民にわかりやすい形で周知を図っていきたい。

(会長)

委員、よろしいか。

(委員)

承知した。これからも取組を伺っていきたい。

(会長)

わかりやすく焦点を絞ってという問い合わせには回答があった。委員からは、もう一つ、弘前市の文化的とでもいうような特徴にどのように切り込んでいくのか、というところでの提言もいただいたところ。

他の委員はいかがか。

(委員)

成果がわかりにくいというのは、第3次計画しかないところ、ベース値と目標値の記載しかない。今回の第3次計画を策定するにあたっては、第1次計画、第2次計画それぞれにベース値と実際の値があって、それについて目標値との差がどうかということで、3つの内容があったと思うが、今回はこのベース値と目標値だけなので、わかりにくいのではないか。今までの第1次・第2次でどういう成果があったかなかったのか。それを踏まえて、第3次でベースをここにして目標値をここにするという内容になるとわかりやすくなると思うので、過去の分も含めた資料の出し方を検討いただければ良いのかなと考えたところ。

それから、42ページの目標実現に向けた取組のところで、行政の取組の中に「がん検診の受診勧奨」がないので、これをぜひ入れて何かしらやったほうが良いのではないかと思ったところ。

また、特定健診の受診率が県の平均より低い状態がもうずっと続いている。がんに関してはがん検診の受診率向上がベースになるのと同様に、(2)の循環器病と糖尿病の項目の中に特定健診でチェックする項目がまたがっている。(2)「生活習慣病の発症予防と重症化予防」がテーマとなっており、その発症予防のところに特定健診が入ってくるので、循環器病の項目だけでなく、もう少し何らかの形で、特定健診をもっと受けましょうというふうな目標を、これが明らかになるような、そういういった内容を少し加えていただきたいと思ったところ。

(事務局)

1点目の第1次計画・第2次計画については、この計画に記載がされていないので、成果がどうなったかを示した計画にすればよかったのではないかというような意見をいただき、もつともだと受けとめている。

この第3次計画を策定するにあたって、第2次計画の改定版の最終評価をしている。第2次計画の改定版というのは、第2次の最初の計画を中間で評価して改定したものになる。その第2次計画改定版に沿って多くの項目について取組を進めて最終評価を行ったことから、それをこの第3次計画にプラスして載せると冊子としてのボリュームもすごく多くなってしまうというところで、第3次計画では第2次計画と少し作り方を変え、このような形になったものである。

ただ、委員から意見をいただいたように、成果が見えにくいとか、ここが課題でこうなった、こうしていきたいというところは、この計画と概要版を使って周知を進めていきたい。

2点目の、特定健診の関係で、「がん」の項目の行政の取組のところに受診勧奨の記載があった方がいいのではないかという意見については、やはり必要なことなので、明記していくようにしていきたい。

循環器病と糖尿病の特定健診の受診率というところでは、ちらもやはり課題になっているので、そこも特定健診を受けて糖尿病だったり循環器病の早期発見というところなので、そこも目標のところは、ぜひそこを踏まえて取り組んでいきたいと考えているところ。

	<p>(委員)</p> <p>がん検診の受診勧奨については、実際に行われているということがあると思うので、ぜひここに記載していただければ。</p> <p>例えば41ページの「がん」の項目の数値目標のところ。令和4年度がベース値になっているが、例えば令和2年度はどうだったのか、平成30年度はどうだったのか、そのような第2次の数字を表に入れることで分かりやすくなると思ったところ。全部のデータを載せてほしいということではない。</p> <p>それで、特定健診については、例えば生活習慣病の発症予防と重症化予防とあって、がん、循環器病、糖尿病とあるが、4番目に生活習慣病をあえて入れて、そこで特定健診の受診率の推移を示すだけでもいいと考えたところ。それを載せるだけでも、コロナの時はちょっと少ないけどまたちょっと増えてきたんだっていうことが見てすぐわかると思う。今までの取組結果が入っていないからわかりにくいのだと思ったところ。</p>
	<p>(事務局)</p> <p>ただ今の意見については、計画の方向性としてはこのような形で進めるが、見せ方というか市民への説明の仕方というところで、例えばその第2次計画改定版当初のときがどうだったのか、その取組を通じてどう上がり、それを第3次に至ってさらにここを目指すんだということが、その段階がわかるような形というのがわかりやすく繋がるものだと考えている。今の計画は、これから令和11年度になると中間を迎えて中間評価を行うので、それまでにここに掲げた取組を重点的に実施していくとともに、数値での振り返りの見せ方などを、そのタイミングでまたしっかりと工夫したい。</p> <p>また、これまでの経緯等についての資料は、次回の審議会で第2次計画の最終の進捗状況を報告する予定しているところ。それ以降も、毎年進捗状況を報告するので、その際に過去をさかのぼって変化があったのかというところを含めて、資料の出し方も検討していきたい。</p>
	<p>(会長)</p> <p>今の話は、資料1の3ページ目の「今後のスケジュール」の令和6年度第3回審議会において、そういう資料を出せるのということだと思うが、委員の意見は、これまでの取組を踏まえてどうやって展開していくのかということを議論できたら良いということなので、ぜひそういうことを第3回の審議会でできたら良いと思ったところ。事務局の配慮をお願いする。</p>

(委員)

そもそも、目標値がどういう根拠で作られたのかが何も記載がないので、それがあつたら教えてほしい。

要するに、今の議論の流れで言うと、第2次改訂版の計画がある、それを踏まえてさらに第3次計画ができているということになっていると思うが、そのような理解で良いか。

(事務局)

目標値決定にあたっての考え方については、74ページ以降に記載している。確かにここにある「第3次健康ひろさき21」のベース値を令和2年度の値で記載しているが、それ以前の第2次計画改定版のときの数値はこちらの方に記載されていないので、そこについては、今後の進捗管理のところで示していきたい。

(委員)

目標値の決定にあたっての考え方について、何か根拠がそれぞれあるのか。

(事務局)

目標値決定にあたっての考え方については、74ページ以降の表の一番右の列に記載しており、基本的には国に準じるというものがベースになっている。あとは、国の目標値の算式と同様に増加率を1.1にするなど、そういう考え方である。

(委員)

もう1つ、別の角度で、22ページ「社会環境の質の向上」のところ、特に大事だなと思ったのは、3)の「誰もがアクセスできる健康増進のための基盤の整備」。ここに「健康経営の推進」ということが書かれているが、これは企業認定制度に取り組んでいるということだが、実際どれぐらいの実績があるのか記載があればわかりやすいのではないかと思ったところ。多くの人は、仕事に従事することを動機付けとして健康を維持していると思うので。私が考えているのは、企業こそが健康づくりをきちんとやりなさいということを、少し強い言い方だが、法的な定期健診をやるし、それ以上のものをやるようなそういう試みである。もう少しこう柱として太いものを作ったほうが良いのではないかと思っている。

	<p>(事務局)</p> <p>企業の認定制度については、まず制度内容として、「健康都市弘前」の実現に向けた取組として位置付けており、従業員の福利厚生や職場での健康づくり、子育ての両立支援など、それらに積極的に取り組む企業を、市が認定する制度である。認定の要件としては、健康診断の受診が必須であり、がん検診を複数あるうち少なくとも2つ以上受けられるようにしていなければならぬなどがあり、それらの要件を満たしている企業を認定するという制度である。今年の4月から始まっており、認定数は10月末現在で16社である。</p> <p>(会長)</p> <p>繰り返しになるが、第3次計画では、現状と課題のところから各取組についての話が始まっているが、現状はどうなのかということから、だからこうしようという話だと思うが、今に至るにはどういう努力を重ねてきたのかというところがあって、だから次はどうしようということが、実際この審議会でこれまで議論してきたことであって、また実際そういうふうに進めてきたと思っている。そこがわかるようにしないと、なかなか何をしたらしいのかというところに結びつかないのではないかというのが、本日ここで行われてきた議論だったのではないかと感じている。</p> <p>それで、実際その評価項目として、18ページに最終評価項目があつて、それでD評価の「悪化している」が30.7%あるというのがあつて、このように第1次・第2次計画と積み重ねてきたけれども悪化している、あるいは良くなっているというところを良く踏まえた上で、次につなげた方が良いのではないかということが改めて共有されたかと思うので、そのことについて次の第3回の審議会で、これまでの経緯を踏まえた第3次計画の取組について、来年度以降どう取り組んでいってもらいたいかを話していきたいと思っている。</p> <p>委員の皆様、それでよろしければ、次の案件に移りたい。</p> <p>(3) 第2期弘前市自殺対策計画の概要について</p> <p>(事務局)</p> <p>資料3を説明</p> <p>(委員)</p>
--	---

ちょっと意外だったのは、自殺対策もやってきたということで、理解したところ。確かに自殺する数が少し多いなっていうのは資料を見て思ったところ。

ただ、その原因が何なのかちょっとまだわからないので、これまでの調査や話し合いの中で何か原因と思われるものがわかれれば、教えていただきたい。

(事務局)

概要版の表の、図1、自殺の死亡率の推移のところ、当市は、2010年以降、全国平均と比べて低い傾向で推移していたものの、2017年以降は、概ね高い傾向で推移している。また、全国的な傾向と同様に、働き盛りの男性における自殺死亡率が多いほか、ここ数年、全国的な新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う行動制限や、経済活動の停滞等の影響により、生活面の変化や経済的問題等が発生し、それに対応する難しさなどから、自殺死亡率が増加したと考えられる。

自殺の原因などについては、「いのち支える自殺対策推進センター」が分析した「地域自殺実態プロファイル2023」によると、主な自殺死亡率の特徴として、1位が男性40歳から59歳の有職、同居者あり、2位が男性60歳以上の無職、同居者あり、3位が女性60歳以上の無職、独居となっている。背景にある主な自殺の危機経路としては、失業や退職からの生活苦、身体疾患やうつ状態から自殺に至る傾向が見られると伺っている。このような内容については、計画本編第2章の「弘前市の現状と課題」の②に詳しいデータを掲載しているので、参照いただきたい。このような状況を踏まえ、今後も自殺防止に向けた対策を強化し、推進していく必要があると考えている。

(委員)

資料3-②の「令和5年度自己評価」のところ、「△」の3つの項目の「評価△の理由」に、「要連絡妊産婦の割合が近年増加しており、多様な支援が必要なケースが増加していることが要因と推察される。」とあるが、どういう内容なのか説明いただきたい。

(事務局)

妊娠届が提出される妊産婦の中には、記載の中に精神疾患の項目があったり、病院から支援が必要だという連絡のある方がいるので、その件数が増えていると聞いている。

(委員)

その様な連絡が増えているので、支援が必要だと。

(事務局)

はい、支援が必要な人が増えていると聞いている。

(会長)

資料3-②の2の表、【基本施策Ⅲ 生きることの促進要因への支援】の中の成果指標が「障がい者が安心して生活できるまちであると思う市民の割合」の項目について。目標値30%に対し実績は22.9%しかないので、主管課の自己評価が

「○」になっているのは少し奇妙ではないかと思ったところ。先ほど事務局の説明の中で、主管課では、普段支援している人たちが満足しているから、自分たちは多少やれているんだと自己評価を高くしていると思うが、それはいかがなものかなと。

ここで求められている評価項目、ここで目標値を設定したのは、市民の認識の割合を高めるという、サービスを受けている特定の人ではなく、市民の割合。「障がい者が安心して生活できるまちであると思う市民の割合」を尋ねていて、それが達成していない場合は「×」だと思うし、それが達成できるような施策をすべきだと思う。そのような施策を行政がしないで、自分たちが支援している人たちが満足しているからこれは効果があるんだ、ということにはならないと思うが、いかがか。

(事務局)

こちらは、この自殺対策計画の上位計画である総合計画の成果指標でもあることから、今いただいた意見を所管課に伝えて、また、総合計画の評価にも繋がっていくものだと考えているので、その旨伝えたい。

(会長)

よろしくお願いしたい。

(委員)

このような計画があって、いろいろな施策がなされているということがあまりよく知らなかつたので、大変よくわかつたなと思った。やはり、先ほどもあったように、市民全体がどのように考えているのかということを、何らかの方法で調べるということが大事だと思う。役所の考え方ということだけではな

く、弘前市民がどのようなことをどのように考えているのかということと、様々なところでみんなで相談して決めたことをどのような形で広報していくか、考えていけば良いのではないかと思った。

(事務局)

広報については、市の「広報ひろさき」に今年度掲載した他、ホームページにも掲載している。また、市が行う健康講座等でゲートキーパー養成講座を開催しており、その中で、今回のこの計画を周知していきたいと考えている。

なかなか、すみずみまで届かないという意見は深く受けとめて、この計画を進めるうえでの組織として自殺対策連絡会議という関係団体、例えば民生委員とか、老人クラブの方とか、そういう方たちも入っている会議があるので、そういうところでも、メンタルヘルスのところであったり、また、この自殺対策計画の周知なども協力していただけるように、お願いしていけねばなと思っているところ。

(会長)

亡くなられた方の人数が出ているが、その中で実際弘前市外で亡くなった方は何人ぐらいになるのか。弘前市に住民登録されているけれども、出張中とか学業で東京に行っているだとか、そういう方もいるのではないかと思うが、そのような数はわかるのか。

(事務局)

死亡地については個人情報になっており、国で、先ほども示した「いのち支える自殺対策推進センター」で警察から提供されたデータを分析し、その結果が市町村に情報提供されるという流れになっている。そこで得られた情報としては、先ほどのところまでしかわからないということになる。

個票に関しても、亡くなった場所までは書かれていません。

(会長)

承知した。それでは、今後も議論していかなければと思う。

他の委員はいかがか。

それでは意見も出尽くしたようなので、案件3を終了する。

(4) その他

	<p>(会長) せっかくの機会なので、委員から何かないか。</p>
	<p>(委員) 今回のこの計画、あるいは他の例えば教育委員会でも様々な計画を立てて報告して、ということがあるが、やはり広報というか、1人でも多くの市民が市のやっていること、そして現状というのを目にする機会が必要になると思っている。そこで、よく市のホームページに掲載するという説明があるが、例えばそれを見た人数が何人いるかというのをカウンター取っているのか。</p>
	<p>(事務局) キーワードで検索された上位とかは出てくるが、それぞれの画面の閲覧件数というのは、管理者側でないとわからないかもしだれない。</p>
	<p>(委員) 例えば今回の健康増進計画、あるいは自殺対策計画などは非常にこの資料がわかりやすくて、多くなって、また減ってきているということで、令和5年時点の現状値を見ると、成果が上がりつつあり、素晴らしい結果だと思う。そういうのを市民が目にする機会が、本当に市のホームページに掲載しましたでいいのかと。このような細かいデータというのは、広報とかそういうところにはなかなか載せられない。 だから、実際にこの計画を市のホームページを開いて見ている市民が果たしてどのぐらいいるのかその辺も考えて、それをもとに何らかの形で、周知が十分なのかを検討してもらえば良いと思うところ。 どうしても、このような計画は、国から降りて来ているので、作っておしまいというパターンになる。 このことを非常に危惧していて、皆さん一生懸命作られているが、市民があまり見ていないということになると、この場だけで満足してしまうような感じになるのではないかと、いつも感想として思うので、どのぐらいの人が見ているのかも、何かの形でわかるようになればいいのかなと思ったところ。</p>
	<p>(事務局) 閲覧件数に関しては、把握できるかを所管課に確認する。あと計画の周知に関しては、ホームページというのは基本受け身</p>

	<p>になっていることから、実際にプッシュ式ということであれば、例えば最近、市の方で公式LINEを始めて、お友達登録するとプッシュ式でお知らせが通知されるということで、そのような周知方法を使いつつ、その他、町会に対して回覧で紙ベースで、プッシュ式でという方法も考えられるので、周知すべき内容を集約したような形でこれを行うなど、方法を考えていきたい。</p> <p>(会長)</p> <p>この2つの計画を作るまで、市の皆さんのが大変努力されてきたというのをよくわかっているので、多くの市民に見ていただきたいなという所もあるので、よろしくお願ひしたい。</p> <p>その他いかがか。</p> <p>他にないようなので、これで本日の議事を終了とする。</p> <p>【7 弘前市健康こども部長挨拶】</p> <p>【8 閉会】</p>
その他必要事項	会議は公開